



まきび通信

校訓：夢へ みんなで まっすぐに

岡山県立倉敷まきび支援学校

学校だより

令和5年度 9月号



【2学期が始まりました】

2学期が始まりました。満面の笑顔でスクールバスから降りてくる子、真っ黒に日焼けしている子、久しぶりの登校に戸惑っている子・・・始業式の朝の子どもたちの表情は様々でしたが、校内に響く子どもたちの声を聞くにつけ、子どもたちあってこそその学校だなと改めて感じました。厳しい暑さが続いていましたので、始業式はリモートで行い、子どもたちはエアコンの効く各教室等に分かれて参加しました。一斉に集まることはできませんでしたが、大きな画面で話を聞いたり様子を見たりするのは、子どもたちにとっては注目しやすく良い面もあったようです。

さて、夏休み前の7月15日に同窓会を開催しました。被災以来5年ぶりの開催でしたが、80人を超える卒業生が参加してくれました。懐かしい卒業生の元気そうな様子や久しぶりに会う友達や先生と笑顔でやりとりをする様子を見られて、私たち教職員にとってもうれしいひとときとなりました。会の中では、代表の何人かが前に出て、今の仕事や生活について報告してくれました。がんばって仕事を続けていること、車の免許をとったことなど話してくれて、それぞれにたくましく豊かに暮らしている様子に安心しました。同窓会終了後、同日に開催された「真備・船穂総踊り」会場に移動して楽しんでいた人もいました。今後も同窓会は、「真備・船穂総踊り」当日に行う予定です。

2学期はたくさん行事があります。まだまだ暑い日が続くようなので、無理のないように少しずつ体を慣らしながら、子どもたちにとって充実した学びになるよう取組を進めてまいります。引き続きご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。（校長 梶谷 淳子）



(株)アキオカ様から、「ごうぎんSDGs私募債」の発行によりプロジェクター2台を寄贈していただきました。早速ランチルームに設置した機器を活用して高等部の始業式を行いました。ありがとうございます。

真備・船穂総踊り参加

7月15日(土)に4年ぶりに開催された「真備・船穂総踊り」にPTA行事として、初めて本校が参加しました。生徒・保護者・職員の有志約40名が、体育館で練習をした後、吉備真備駅前から真備支所前まで踊りました。当日は、たくさんの方が応援してくださり、気分も高揚しました。直前の練習だけの急ごしらえのチームでしたが、暑い中ゴールに向けて踊っていく中で、一体感も感じる事ができました。大変な暑さで、15分間踊り支所前に着いた時には汗びっしょりでしたが、とても心地よい経験をする事ができました。

また、支所前テントで出店し、販売スタッフとして28名の生徒・保護者の方で野菜等の販売をしました。きれいな花の苗、新鮮な野菜、中でもジャガイモの一袋詰め放題は好評で、たくさんの商品が売れました。

踊り等には参加されなかった方からも、「初めて我が子と、地域のお祭りに参加することができた。」とうれしいお話を聞くこともできました。今後も、PTA行事の一つとして参加していきたいと思っています。ご協力ありがとうございました。（副校長 小野 浩）

